

(第3種郵便物認可)

北海道プラス

〒060-0004 札幌市中央区北四条西6丁目1 毎日会館 【☎】011(251)1755
 【FAX】011(251)7346 広告のお申し込み、お問い合わせは【☎】011(251)1746

◆藤本 達也 (ふじもと・たつや) 1978年(昭53)3月17日、標津町生まれの37歳。日本文理大卒。01年、父が経営していた渡辺清掃に入社。12年、社長に就任し、現在もバイオマスソリューションズの社長と兼務している。今年4月、長男(第1子)が生まれた。

▽バイオマスソリューションズ 本社は別海町別海宮舞町247。08年創業。札幌に営業所、中標津町には肥料を製造するバイオマスセンターがある。社のキャッチフレーズは「バイオマスで未来を創(つく)る」。



バイオマスソリューションズの商品「ミルクパワー」を手笑顔の藤本社長と青山千景

「別海は酪農の町ですが、乳製品を生産する際の汚水処理で出る汚泥(有機物を分解する微生物の固まり)の処理が問題になっていました。その廃棄物などを製品化したのが、当社看板商品の「ミルクパワー」です。

「牛乳が由来なので「ミルクパワー」は14年度のグッドデザイン賞(ビジネスモデル・ビジネスメソッド部)

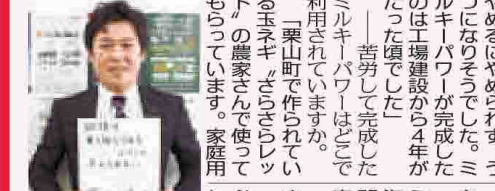
酪農王国の未来見据え廃棄物を有効活用

◆青山 千景 (あおやま・ちかげ) 1986年(昭61)1月17日、札幌生まれの29歳。北海学園大卒。中学時代からタレントとして活動し00年CMデビュー。07年度ミスざっぽろ。TVh「旅コミ北海道FMノースウェーブ「カモシダサナイト」に出演中。

21世紀の「グリーンテア」

「バイオマス」の再生工場と言えざる事業について語ってくれた(次回は29日掲載予定)。

バイオマス 藤本 達也社長



「苦勞して完成したミルクパワーはどこで利用されていますか。」

「栗山町で作られている玉ネギ、さらさらレドの農家さんで使ってもらっています。家庭用です。」

「名産や特産の裏では必ず廃棄物が出ます。それを処分したり、再生したい。色紙に記したバイオマスソリューションズ・藤本社長」

「座右の路」試練は乗り越えられる人にか与えられる人

「自然豊かな北海道だからこそ生まれた事業は、北海道の未来につながりますね。」

「北海道はもちろん、地球の環境のためにもなる事業だと思っています。東南アジアなどにもノウハウを提供したい。有機肥料を作るには、気温が高い方が適しています。寒い北海道で成功しているのだから、暑いところなら難しい話ではないでしょう。」

「構想が理解してもらえなかった。その後、他の銀行へ相談に行きました。そこでも最初はNGを出されましたが、事業計画を8回も作り直して提出し、やっと融資が決定。1年半かかってようやくの創業です。」

「ここからは順調?」「いえ、有機肥料も思ったように作れず、正直何度もやめようと思いましたが、借金がかさん残っていたので、やめになりそうでした。ミルクパワーが完成したのは工場建設から4年がたった頃でした。」

「バイオマスソリューションズを立ち上げる前から渡辺清掃という会社の社長をやっているのですが、そこでは漁業や酪農関連の産業廃棄物を扱っています。これをリサイクルできないかと考えました。」

「資源の再生ということですか。」

「別海にある大手乳業メーカー3社と取引していますが年間3000トンの廃棄物が発生しています。食品向けの工場から出るもので、安全性も高く使わない手はありません。」

「そこで別に会社をつくったわけですね。」

「はい。でも、創業までかなり時間がかかりました。工場建設など1億5000万円の経費がかかるのですが、地元金融機関からは融資してもらえず、途方に暮れました。」

「バイオマスソリューションズを立ち上げる前から渡辺清掃という会社の社長をやっているのですが、そこでは漁業や酪農関連の産業廃棄物を扱っています。これをリサイクルできないかと考えました。」

「資源の再生ということですか。」

「別海にある大手乳業メーカー3社と取引していますが年間3000トンの廃棄物が発生しています。食品向けの工場から出るもので、安全性も高く使わない手はありません。」

「そこで別に会社をつくったわけですね。」

「はい。でも、創業までかなり時間がかかりました。工場建設など1億5000万円の経費がかかるのですが、地元金融機関からは融資してもらえず、途方に暮れました。」

「バイオマスソリューションズを立ち上げる前から渡辺清掃という会社の社長をやっているのですが、そこでは漁業や酪農関連の産業廃棄物を扱っています。これをリサイクルできないかと考えました。」

「資源の再生ということですか。」

「別海にある大手乳業メーカー3社と取引していますが年間3000トンの廃棄物が発生しています。食品向けの工場から出るもので、安全性も高く使わない手はありません。」

「そこで別に会社をつくったわけですね。」

「はい。でも、創業までかなり時間がかかりました。工場建設など1億5000万円の経費がかかるのですが、地元金融機関からは融資してもらえず、途方に暮れました。」

「バイオマスソリューションズを立ち上げる前から渡辺清掃という会社の社長をやっているのですが、そこでは漁業や酪農関連の産業廃棄物を扱っています。これをリサイクルできないかと考えました。」

「資源の再生ということですか。」

「別海にある大手乳業メーカー3社と取引していますが年間3000トンの廃棄物が発生しています。食品向けの工場から出るもので、安全性も高く使わない手はありません。」

「そこで別に会社をつくったわけですね。」

「はい。でも、創業までかなり時間がかかりました。工場建設など1億5000万円の経費がかかるのですが、地元金融機関からは融資してもらえず、途方に暮れました。」

「バイオマスソリューションズを立ち上げる前から渡辺清掃という会社の社長をやっているのですが、そこでは漁業や酪農関連の産業廃棄物を扱っています。これをリサイクルできないかと考えました。」

「資源の再生ということですか。」

「別海にある大手乳業メーカー3社と取引していますが年間3000トンの廃棄物が発生しています。食品向けの工場から出るもので、安全性も高く使わない手はありません。」

「そこで別に会社をつくったわけですね。」

「はい。でも、創業までかなり時間がかかりました。工場建設など1億5000万円の経費がかかるのですが、地元金融機関からは融資してもらえず、途方に暮れました。」